

2025 年度（2024 年度実績）事務事業マネジメントシート(通常)

総合計画  
施策番号 4-2-3

事務事業名	橋りょう長寿命化事業	所属 部門	環境土木課	道路整備係
町長公約				

◆ 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <p>橋りょうが急速に老朽化していくことを踏まえ、法令で定める5年に1回の近接目視点検とその結果に基づいた修繕を実施することで橋りょうの長寿命化を図り、誰もが安心して快適に利用できる道路交通環境の整備を図る。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <p>町道認定路線に設置された橋りょう</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <p>法令点検により安全性を確認し、損傷している橋りょうについては計画的に補修する。</p>
<p>4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか)</p> <p>橋りょうの長寿命化を図ることで、道路交通網の充実と安全性の向上が図られ快適な交通環境による事故防止と地域の生活環境の向上に繋がる。</p>

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定

(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	橋りょう点検数	橋
②	橋りょう修繕数	橋
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	町道に設置されている橋りょう数	橋
②		
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	点検が必要な橋りょう数(5年間のサイクル)	橋
②	修繕が必要な橋りょう数	橋
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	冬期間の移動は安全安心と感じる町民の割合	%
②		
③		

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <p>町道に設置されている橋りょうは全部で266橋あり、現状では、建設後50年以上経過している橋りょう数は15%程度であるが、20年後には92%まで増加する。これらの急速に増加する老朽化橋りょうを計画的・効率的に保全するため策定した「橋りょう長寿命化計画」に基づき、修繕及び定期的な点検を実施している。また、修繕及び点検を実施するにあたり、多額の財源が必要になる。</p>	<p>2. 今後の取組</p> <p>(2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法)</p> <p>橋りょうの法定定期点検は2024(令和6)年度から2028(令和10)年度までの5か年で3巡目の点検を実施する。また、2024(令和6)年度に策定した「橋りょう長寿命化計画」に基づき、優先度や事業費の平準化を図りながら進める。なお、特定財源は道路メンテナンス補助及び辺地債を活用し、一般財源の削減を図る。</p>
---	---

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円	48,000,000	61,383,000	102,330,000	89,688,000	123,420,000
	地方債	円	32,300,000	35,800,000	52,500,000	51,600,000	66,800,000
	その他(使用料等)	円					
	一般財源	円	4,540,820	12,260,460	15,887,820	16,784,000	15,647,000
事業費計		円	84,840,820	109,443,460	170,717,820	158,072,000	205,867,000
活動指標	① 橋		77	60	44	62	77
	② 橋		3	1	2	5	1
	③						
対象指標	① 橋		266	266	266	266	266
	②						
	③						
成果指標	① 橋		84	266	222	160	83
	② 橋		37	29	28	23	22
	③						
上位成果指標	① %		56.7	58.0	63.3	66.7	70.0
	②						
	③						

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号

事務事業名	公共施設(付帯施設等)修繕等設計・積算事務	所属 部門	環境土木課 道路整備係
町長公約			
簡易シートを 選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

〔事業の概要・現状・課題〕

他課で所管する土木構造物の老朽化や破損が生じ、担当課では設計・積算が困難な場合において、施設管理担当係と協議し、設計・積算業務を実施する。

〔2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法〕

他課からの依頼により適時対応する。

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	0	0	
	事業費計	円	0	0	0	0	0	

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(通常)

総合計画  
施策番号 4-2-3

事務事業名	郊外地道路新設改良事業	所属部門	環境土木課	道路整備係
町長公約				

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 郊外地における住環境の改善と町の基幹産業である農畜産業の作業効率の向上を目指し、順次整備を進める。
2. 対象(何を対象にしているか) 郊外地道路
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 道路整備により、地域住民及び一般車両や大型農業車両による農産物搬出入の円滑化と安全を確保する。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか) 交通体系の充実と安全性の向上、緊急時における的確な交通対応や事故防止等の地域振興につながる。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定

(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	整備延長	m
②		
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	郊外地道路延長	m
②		
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	改良率	%
②	舗装率	%
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	冬期間の移動は安全安心と感じる町民の割合	%
②		
③		

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 高度経済成長期に建設された道路の老朽化が著しく進んでいることから、改良・修繕共に費用面において課題がある。また未舗装路線においては、住民から雨天時、融雪時の安全性及び農産物の大型輸送等による舗装化の要望が増加している。 2024(令和6)年度には、東工業団地への大型車両の交通量の多い西19号線(伏古6線)の調査を実施し、道路舗装面の劣化や国道38号との交差点の渋滞状況を確認しており、交通利便性向上やアクセス機能強化などの対応策についての検討が必要である。	2. 今後の取組 (2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法) 道路整備については、破損状況など道路公園維持係と連携し、整備路線を選定する。整備手法については、「茅室町道路整備規準(2019(令和元)年度策定)を基に各路線の実態に応じた経済性を考慮した工法で整備を進める。 また、財源にも限りがあることから、市街地道路新設改良事業を踏まえ、優先度を決定し整備を進める。なお特定財源として、社会資本整備交付金や辺地債を活用し、一般財源の削減を図る。 西19号線(伏古6線)については、国道38号と道道茅室東4条常広線を南北につなぐ路線であり、2019年(平成31)年3月に策定した「茅室町道路マスタープラン」では、地域幹線道路(生活・産業・観光の軸)とし重要な路線に位置づけていることから、優先的に整備を進める。
---	---

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円					103,800,000
	地方債	円	104,500,000	168,500,000	168,200,000	212,100,000	265,600,000
	その他(使用料等)	円					
	一般財源	円	52,630,688	15,687,258	6,186,097	8,524,000	14,802,000
事業費計		円	157,130,688	184,187,258	174,386,097	220,624,000	384,202,000
活動指標	①	m	1,973	2,030	1,689	1,646	1,698
	②						
	③						
対象指標	①	m	818,380	818,380	818,380	818,380	818,380
	②						
	③						
成果指標	①	%	75.7	75.7	75.8	75.8	75.8
	②	%	62.7	62.8	62.9	62.9	62.9
	③						
上位成果指標	①	%	56.7	58.0	63.3	66.7	70.0
	②						
	③						

2025 年度（2024 年度実績）事務事業マネジメントシート(通常)

総合計画  
施策番号 4-2-3

事務事業名	市街地道路新設改良事業	所属 部門	環境土木課	道路整備係
町長公約				

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 市街地における円滑な交通環境と高齢者や身体に障がいをする方等に配慮した歩道整備など、誰もが安心して快適に利用できる道路交通環境の整備を図る。
2. 対象(何を対象にしているか) 市街地道路
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 道路網の整備や公共施設周辺のバリアフリー化を進めることにより、快適な住環境と誰もが安心して円滑に通行できる車道や歩道空間を確保する。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか) 道路交通網の充実と安全性の向上が図られ、快適な交通環境による事故防止と地域の生活環境の向上につながる。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定

(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	整備延長	m
②		
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	市街地道路延長	m
②		
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	改良率	%
②	舗装率	%
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	冬期間の移動は安全安心と感じる町民の割合	%
②		
③		

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 高度経済成長期に整備した道路の老朽化が著しく進んでおり、改良・修繕共に整備費用が課題である。既設舗装道路の再整備要望が増加している。 2024(令和6)年度には、東工業団地への大型車両の交通量の多い西19号線(河北西19号線)の調査を実施し、道路舗装面の劣化や国道38号との交差点の渋滞状況を確認しており、交通利便性向上やアクセス機能強化などの対応策についての検討が必要である。	2. 今後の取組 (2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法) 道路整備については、破損状況など道路公園維持係と連携し、整備路線を選定する。整備手法については、「芽室町道路整備規準(2019(令和元)年度策定)を基に各路線の実態に応じた経済性を考慮した工法で整備を進める。 また、財源にも限りがあることから、郊外地道路新設改良事業を踏まえ、優先度を決定し整備を進める。
---	---

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円					
	地方債	円		100,000,000	125,300,000	148,200,000	47,800,000
	その他(使用料等)	円					
	一般財源	円	123,795,766	21,771,399	14,290,062	16,951,000	5,566,000
事業費計		円	123,795,766	121,771,399	139,590,062	165,151,000	53,366,000
活動指標	①	m	725	527	566	519	140
	②						
	③						
対象指標	①	m	104,365	104,472	104,463	104,463	104,463
	②						
	③						
成果指標	①	%	96.7	96.9	96.9	96.9	96.9
	②	%	96.5	96.6	96.6	96.6	96.6
	③						
上位成果指標	①	%	56.7	58.0	63.3	66.7	70.0
	②						
	③						

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号

事務事業名	駐車場法に基づく路外駐車場設置等に関する事務	所属 部門	環境土木課	道路整備係
町長公約				
簡易シートを 選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

〔事業の概要・現状・課題〕

駐車場法の規定に基づき、都市計画区域内に路外駐車場を設置する場合、設置者はあらかじめ、その位置、規模、構造、設備その他必要な事項を芽室町長に届出なければならない。町は路外駐車場に対して、立入検査や是正に必要な措置及び供用停止を命ずることができる(平成18年度に北海道から権限移譲)。  
 また、路外駐車場のうち、特定路外駐車場の条件に該当する駐車場は、バリアフリー法の規定に基づき、路外駐車場移動等円滑化基準に適合させることを義務付けしており、その設置について届出しなければならない。町は特定路外駐車場に対して、立入検査や是正を命ずることができる(平成20年度に北海道から権限移譲)。

〔2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法〕

町内には該当する路外駐車場の設置事例はないが、今後申請があった場合には適切に検査等を実施する。

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	0	0	
	事業費計	円	0	0	0	0	0	

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号

事務事業名	北海道用地対策連絡協議会参画事業	所属 部門	環境土木課 道路整備係
町長公約			
簡易シートを 選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

〔事業の概要・現状・課題〕

用地対策連絡協議会は公共事業の施行に必要となる用地取得に関し、起業者相互の連絡を行い、損失補償基準運用の調整及び損失補償に関する調査・研究・研修等を共同で行うため、起業者によって組織された団体である。公共事業を推進するにあたり、用地の取得、支障物件の補償等の適正化と円滑化に寄与するための情報を取得し、適切な積算を実施するため参画する事業である。

〔2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法〕

用地対策連絡協議会では、補償基準や補償に係る単価を毎年更新しており、適正で公正な補償評価を実施するため、入会する必要がある。

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	0	0	
	事業費計	円	0	0	0	0	0	